

## 協議会の取組(平成22年度)

国の交付金を活用した取組として、最終年度となる平成22年度は、岩国市、柳井市、廿日市市及び大竹市の一定地区で、住民ボランティア参加による、「地域ぐるみの防除活動」を実施しました。

	岩国市	柳井市	廿日市市	大竹市
実施場所	萩原、黒磯崎、八軒屋、下の浜、藤生駅前、新藤生、新黒磯、黒磯、青木中、青木沖、瀬戸海、一本杉、アメニティ桂、アメニティハイツ桂、桂町二丁目、昭和町一丁目第二、元町四丁目第一、陸、門前山手第一、山手町二丁目第一自治会	中馬皿、下馬皿自治会の一部	廿日市市桜尾三丁目(一区・二区)地区	南栄二丁目地区 南栄三丁目地区 西酒三丁目地区 東栄一丁目地区の一部 東栄二丁目地区の一部
対象戸数	約2,720戸	約180戸	約150戸	約550戸
面積	150ha	12ha	6ha	52ha
延参加者数	約8,400名	約650名	約1,000名	約2,300名
実施月日	8月17日～10月6日 (各自治会：1週間)	7月5日～9日	7月5日～12日	7月28日～8月1日

岩国市では、新規の取組箇所を増やし、計20自治会を対象としています。また、同市では、新たに発売された薬剤(ベイト(餌)剤)での防除を実施しています。



協議会では、3年間の防除成果を取りまとめ、自治会むけの防除マニュアルを作成しました。



今後は、このマニュアルを通じて、アルゼンチンアリが生息する地域の方々に、防除の手法について広くお知らせしていきます。